

2022.10.29 活動報告

～認知症の人と家族の一体的支援プログラム学びのプラットフォーム～

<https://www.facebook.com/groups/1582572215459489/>

皆様、こんにちは😊お疲れ様です。

2022年10月29日午後1時半～午後3時半まで、今年度4回目のパーキングPセンターいづかの活動でした。

私たちの地区はミーティングセンターの名称を参加者のお孫さんにネーミングしていただいた、『パーキングPセンターいづか』として活躍をしています。

今回は、認知症当事者とご家族(4名、2組のご夫婦)が4名、専門職が3名、視察で福津市役所、福津市地域包括支援センターの方々が5名、計12名でした。

私が所属しています、飯塚記念病院福岡県認知症医療センターの事業の1つ、今年度より全国で始まった、診断後等支援事業の1つ、当事者等の交流会の開催の一環として、月1回、土曜日か日曜日の午後に、サービス付き高齢者住宅、アップルハートリビングいづかを拠点にして活動を展開していました。

ただし、今月から諸事情により筑豊緑地公園(プール管理棟 研修室)にて活動場所を移し、展開しています。

今日は、自己紹介を兼ねて、6月からの近況報告を参加者一人一人語り合い、ご本人たちは筑豊緑地公園をウォーキング、ご家族はそのまま研修室に残り、お話をされました。それぞれスタッフが同伴して対応。ご本人たちが約束した時間にかえってこず、ご家族が探しに行くといった一幕もありました。

又、自己紹介の順番を設定するのに、来月の誕生日を尋ねると、ご家族が来月誕生日であったので、一足早い誕生日プレゼントを江頭からお渡しさせて頂きました。

ご本人たちはウォーキングをしながら、(秋の紅葉をみて)『綺麗だね～。』と話し、ご家族のミーティングでは、『ご本人をデイサービスに連れて行ってみようかなあ。』、早く手立てをしていたら・・・自責の念にかられることがあると本人が認知症発症当時を振り返るような発言があっていたことが話題となりました。

活動後の専門職によるミーティングでも、前回同様、皆が集う場、語らう場の大切を共有。ご本人の思いも大切ではあるが、ご家族の思い、気持ち、姿勢を尊重、励ますことも大切ではないかということが話題になりました。併せて、ご家族がミーティングを仕切るようになって、そのご家族の変化に専門職がびっくりしたと感じたひとときもありました。



誕生日プレゼントを渡すシーン。

ご本人たちを探すご家族たち